

ゆづりね

あなたさへ  
いなくなれば・・・

あの果てしもない  
沈黙と無のエーテルが  
蒼ざめた異界の影が  
このぼくよりも  
若く幼くうつくしい  
あなたの靈気が

\*\*\* \*\*

よるべない  
ぼくの猫背に忍びより  
腐った仔猫の乳房めいて  
その甘たるい疼きもて  
いやというほど  
もてあそび  
もうめざめえぬほど  
傷つけるのに  
殺しはしない

そしてその  
絹の糸の端さきとも  
銀の真綿の屑ともつかぬ  
妖しいあなたの手の鱗粉が  
あの儂げな母のぬくもりが  
死をそつと

遠い懐かしい死を

教へてくれる

まどろみながら

\*\*\*

いつまでも

そばにいて・・・

どこまでも

ながされて・・・

そして永すぎた

あやかしのこのいのち

点し続けた深淵に

揺らめく燐の焰を

ふきけして

誰の死を受胎する

いのちの繭にも

もはやきみの死は

やどりはしない

どの宇宙にもなく

どの銀河ではない

どこにもいない

神のゆびさき

そのかほり

あの世なんて

ないのだよ

この世なんて

ないのだよ

ただ生なましくも

凍てついた

質量なき無辺の闇が

比類なき刹那をかへし

どこまでも乱舞せる子等を

いつまでもひとつに紡ぐ

老いはて肥ゆる内宇宙が

コロニーの檻で死するとも

光を凌ぐ外宇宙から

数多の幼なき内宇宙へと

透明なるW o r m · H o l e の

さやぐ触手をつなぎゆく

どうせ魂は細胞さへも

K h a o s の海に分解されて

どうせ命は運命さへも

完りなき時空に統一される

おもいだせない

コアセルヴェート

こんな夢いからだでも

そこでそのとき生れたものを

いのちの系譜に築かれた

D o g m a と倫理の不条理も

大儀なす戦争のもたらす罪も

このなつかしい星屑の記憶のみ

もうこの世などないのだよ

もうあの世などないのだよ

さまよひ消ゆる見知らぬ星で

幾たび泪を枯らしても

無限の層なすいくつの宇宙に

目瞬く時空のさだめもしらず

進化の果てし辺境の銀河には

幼稚な科学しかありません

そして命は運命さへも

完りなき時空に統一されて

そして魂は細胞さへも

K h a o s の海に分解されやう

## 旅の記

・・・もうかへれない

流れては過ぎゆく

情景の色も馨りも

二度とはもどれぬ

刹那の陽りと翳り

望みゆく旅の果て

求めゆく夢の水先

なべて享けし命の

故に刻まれし墓標

もう帰へれない

あの懐かしい風も

忘れえぬことばも

誰にも明せぬ心も

許されぬ想いでも

暮泥む夕陽を捜し

名残の記憶を訪ね

化石せる情と愛と

未来の残骸を巡る

もう還へれない

流れては過ぎゆく

世界その刹那の

風化せしむ刹那に

生れかわるこの刻

追いゆく生の果て

迫る聲音が告げる

二度とはもどれぬ

なべてとなれる刻

もうかへれない

かへりはしない

どこにもいない・・・